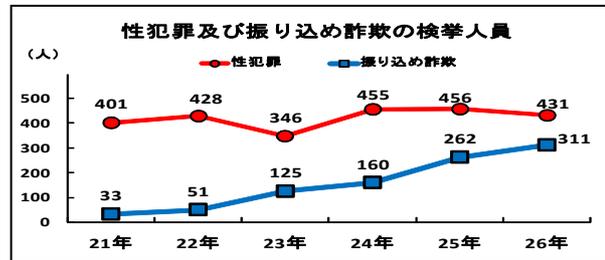
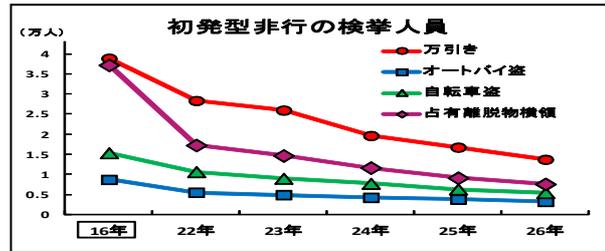
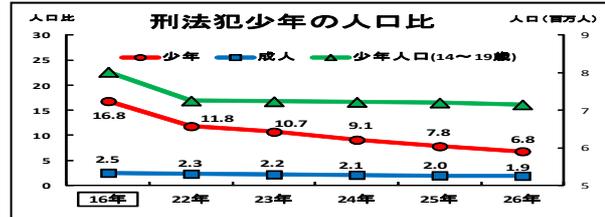


1 非行少年の概況

- 刑法犯少年は4万8,361人と11年連続で減少したが、人口比は成人に比べ高水準
- 特に初発型非行（万引き、オートバイ盗、自転車盗、占有離脱物横領）が大きく減少
- 性犯罪は高止まり、学職別では中学生（触法少年を含む）が高校生の1.8倍
- 振り込め詐欺は急増、検挙人員の7割が「受け子」



2 刑法犯少年の再犯者率及び共犯率

- 再犯者率は34.9%と17年連続で増加しており、統計のある昭和47年以降で最も高く、中でも凶悪犯の再犯者率は56.9%と高水準
- 少年同士の共犯率は25.4%と成人同士（10.9%）の2.3倍、不良交友関係を背景にした共犯は少年に顕著

※ 再犯者率=刑法犯検挙人員に占める再犯者の割合

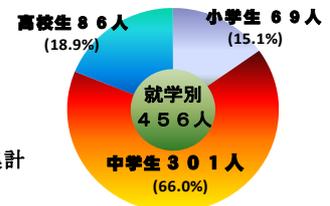
いじめに起因する事件の検挙・補導状況

	22年	23年	24年	25年	26年
件数	133	113	260	410	265
人員	281	219	511	724	456

3 学校のいじめ問題

- いじめに起因する事件の検挙・補導件数、人員とも減少したが高水準
- 検挙・補導人員の約7割は中学生

※ 平成25年以降は「いじめ防止対策推進法」に規定する「いじめ」の定義により集計



4 今後の対策

- 地域社会と連携した立ち直り支援活動や低年齢少年を対象とした非行防止教室等「非行少年を生まない社会づくり」の一層の推進
- 少年を特殊詐欺に加担させないための取組の強化
- 事件捜査を通じた不良交友関係の解消等集団的不良交友関係対策の推進
- 学校との連携強化等によるいじめ問題に対する的確な対応